

藤沢駅周辺地区再整備事業の進捗状況について

1 藤沢駅北口デッキリニューアルについて

(1) 事業の概要

既存の構造躯体を活かしつつ、バリアフリーやユニバーサルデザインへの対応等を行うとともに、藤沢駅周辺の再活性化に向け、にぎわいや交流、憩いを育める空間の創出等を図るリニューアルをめざします。

○北口デッキにぎわいワーキング(平成26～27年度)による「再整備コンセプト」

憩い・集い・出会いの場として
新たなにぎわい・交流・つながりを創出・発信する場として
様々な世代・季節・時間の楽しみ方を育む場として

湘南・藤沢
Garden Gate

- 平成27年度 予備設計
- 平成28年度 詳細設計

(2) 景観・デザインコンセプト

① 暮らしを楽しむ場づくり【機能】

日常時、非日常時両面で楽しめる場所とする。

② 藤沢市の顔となるシンボルづくり【造形】

人の活動が見え、感じられる場所をつくる。

③ 拡がりのある空間づくり【空間構成】

四方をビルに囲われた空間構成を活かし、「ひとつのまとまりある空間」をめざす。

<完成イメージ>



(3) リニューアルする際の配慮事項

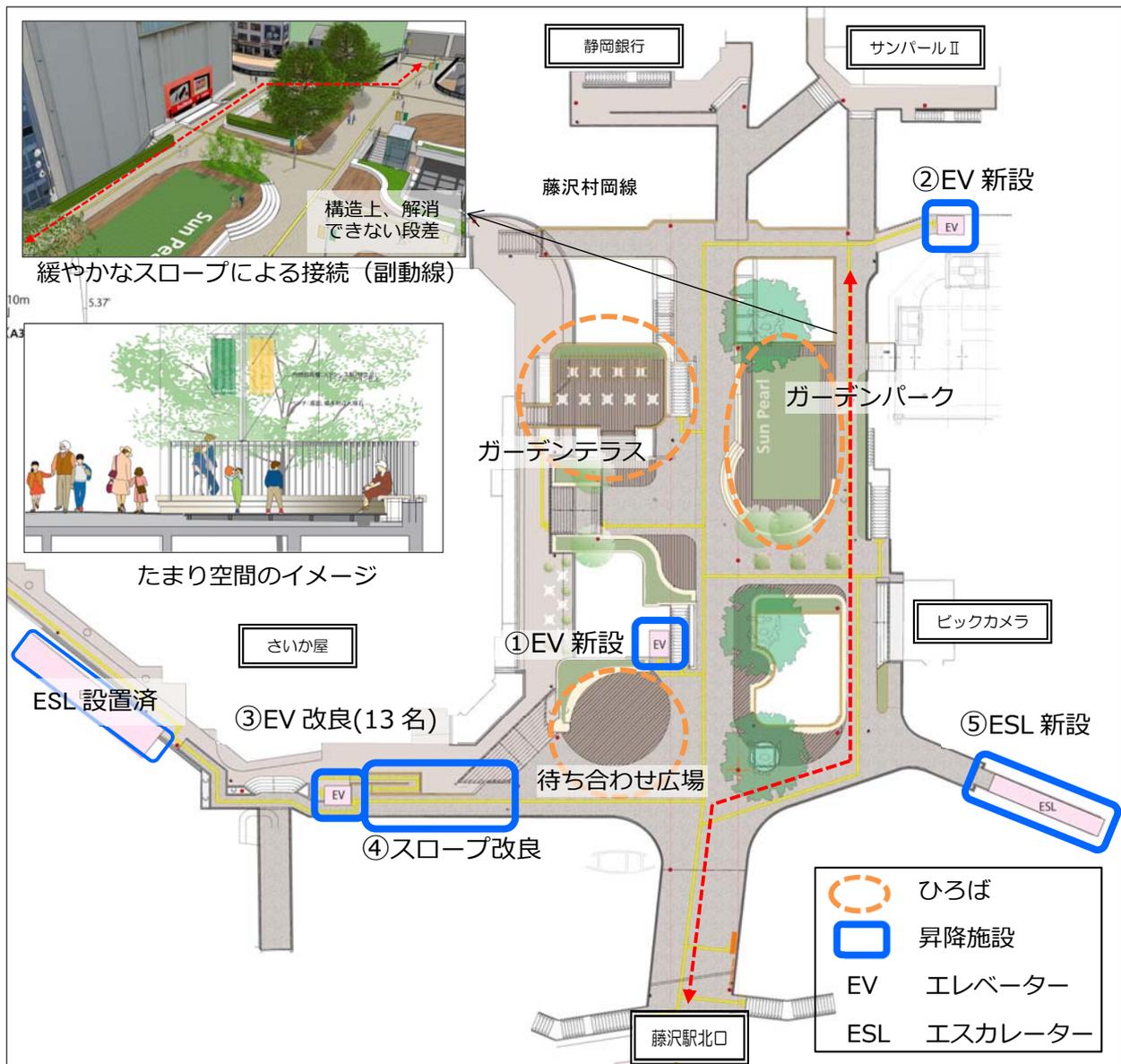
憩いや交流・にぎわいができる空間の拡大と、フレキシブルな活用への対応

- イベント等で利用しやすい広々とした新たな空間の確保（ガーデンパーク、ガーデンテラス等）や、分かりやすい待ち合わせの場の確保（待ち合わせ広場）
- 樹木の木陰等や、段差を活用した休憩スペース・ベンチの設置
- 大規模イベント等に対応した副動線の確保 等

施設・デザイン・材質等、様々の観点でユニバーサルデザインへ配慮した選択

- 様々な利用者やシーンを見据えた多様な昇降施設の設置
- デッキ面での段差がバリアにならないよう、回遊性を持たせるスロープの設置
- 昼夜間とも、安心と演出が共存する照明の設置（段差やデッキ下面等）
- 歩きやすさや滑りにくさ等、機能性を考慮した舗装材の使用
- 様々なシーン、利用を想定したサイン計画の導入（検討・調整中） 等

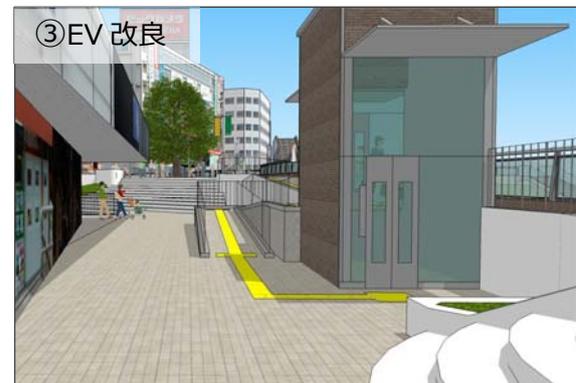
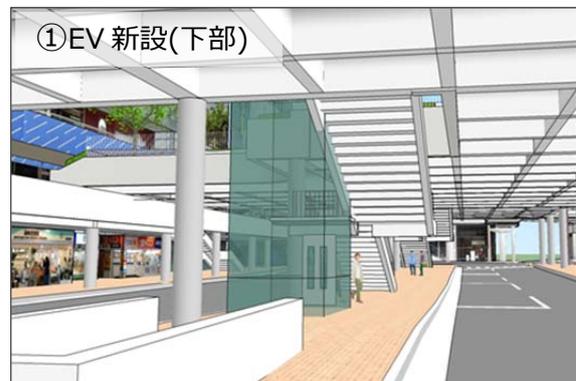
<リニューアルプラン>



(4) 昇降施設・スロープの設置

- エレベーターの設置については、利便性向上のため、デッキ中央のバス乗り場(①)と駅北側の藤沢村岡線(②)へ車いすが2台乗れるストレッチャー対応の13名乗りエレベーターを新設します。
- 既設さいか屋前のエレベーター(③)は、さいか屋2階部分にも停止できるように改良するとともに、エレベーターの広さも9名乗りから13名乗りとします。
- デッキから既設エレベーターへ繋がる既設スロープ(④)を拡幅します。更に、車いす・ベビーカー等も利用しやすいように、さいか屋2階へ繋がるスロープを新設します。
- ビックカメラ南側(⑤)には、上下線、一人乗り用のエスカレーターを新設します。

※ 各施設の位置は左図(P.2)を参照



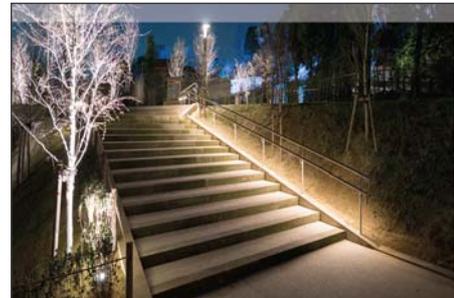
(5) 誰もが安心して利用できる空間の整備

階段やスロープには、握りやすく滑りにくい手すりを設置し、夜間でも段差が分かるように足下照明を配置して安全性を高めます。

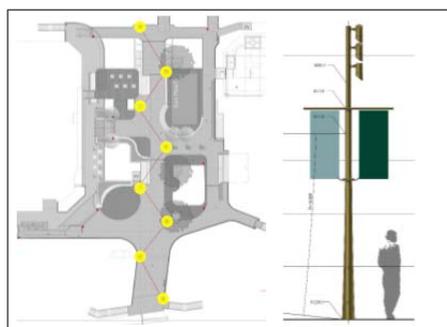
駅出口からの主動線の照明は、床面を明るく連続的に照らすことで誘導効果のある照明とします。



手すりのイメージ



足下照明のイメージ



照明灯配置のイメージ



照明灯のイメージ

(6) 拡がりのある空間を演出する高欄

駅からの出口は、ゲート性を持たせるため、高級感を感じさせるガラス高欄へと更新します。植栽や明かり取りの開口部については、視線の抜けがよい多柵式高欄とします。



多柵式高欄



ガラス高欄

(7) 機能性を考慮した舗装材料

舗装材料は、「一般部」「ガーデンテラス・待ち合わせ広場」「ガーデンパーク」等、歩行者動線とたまり空間を視覚的に区分するため、3つの素材を使い分けることとしました。

- 「一般部」は、ウォームグレーを基本として落ち着いた印象をもたせ、排水性に優れ、滑りにくく、汚れや油染み等が目立たない舗装材を使用します。
- 「ガーデンテラス・待ち合わせ広場」は、たまり空間であることが視覚的に分かるように天然木を使用したウッドデッキとします。
- 「ガーデンパーク」は、イベントや憩いの空間として使いやすいように、毛足の短い人工芝とします。

一般部



舗装材の色イメージ



整備後のイメージ

ガーデンテラス・待ち合わせ広場



天然木のイメージ



使われ方のイメージ

ガーデンパーク



人工芝のイメージ



イベント時のイメージ

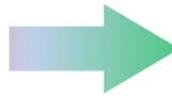
(8) デッキ下面の暗さ対策

デッキ下面では、バスターミナルの暗さ対策や美観の観点から、表面に付着した排気ガス等による汚れを洗浄し、白色系の塗装をした後に汚れが付きにくいクリア塗装で仕上げます。

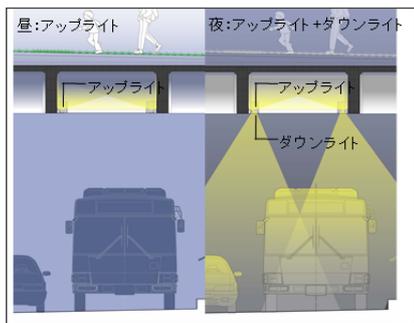
照明灯も LED 照明に一新し、明るい空間とします。



現 況



整備後のイメージ



照明灯のイメージ



昼間のイメージ

(9) 整備スケジュール

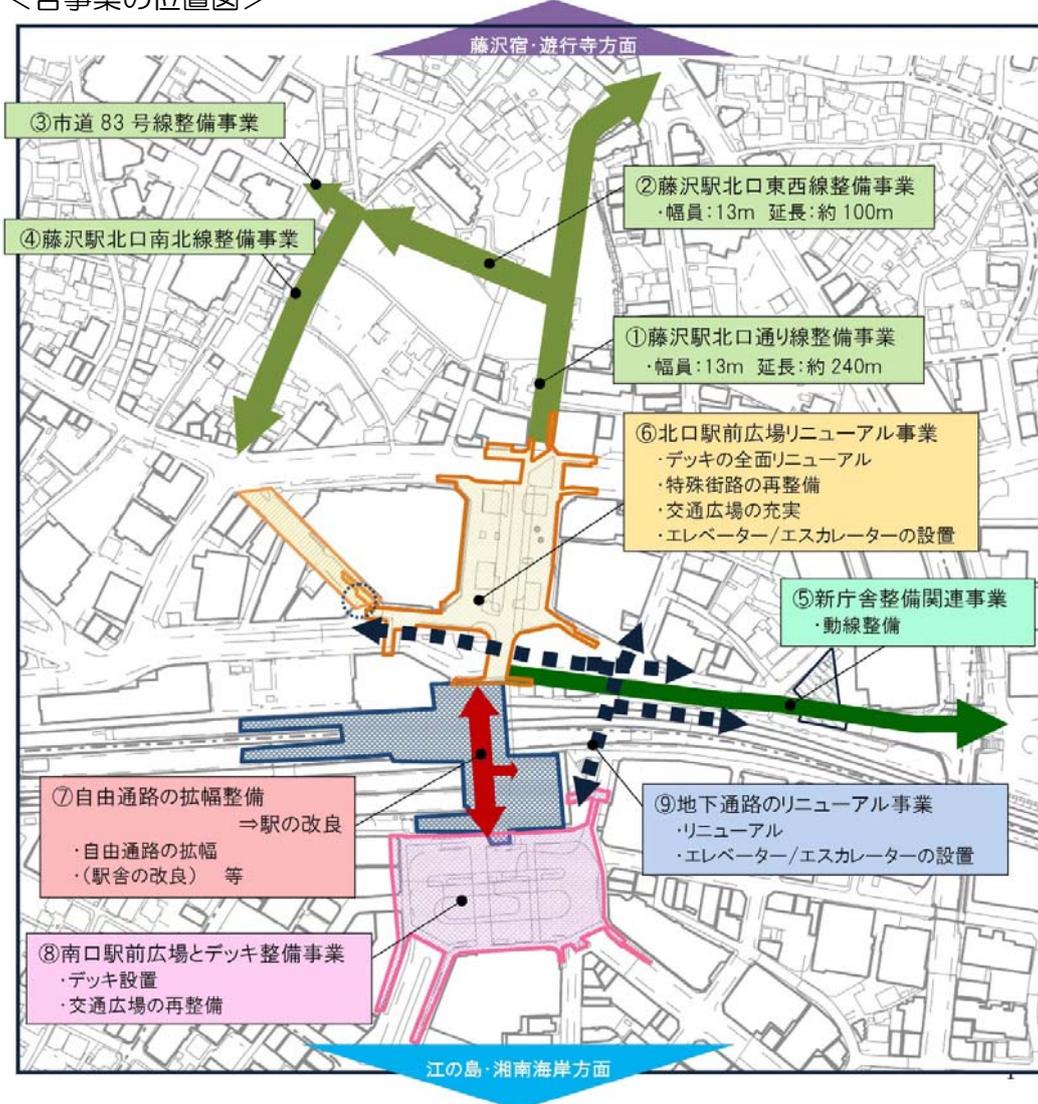
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
設計業務	予備	詳細			
契約手続き					
工事	①デッキ本体				
	②昇降施設				

(10) 概算事業費

項 目	概算事業費
①デッキ本体（リニューアル、補修等）	約22億円
②昇降施設（EV、ESL）	約8億円
計	約30億円

2 藤沢駅周辺地区再整備事業の進捗および今後の取り組みについて

<各事業の位置図>



(1) 駅北側の進捗および事業スケジュール

事業	年度									
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	
都市再生整備計画		第 I 期					第 II 期			
④藤沢駅北口南北線拡幅整備		調整	設計	工事						
⑤市役所通り線再整備		調整	設計	工事						
⑥北口デッキリニューアル		調整	設計	工事						
⑥交通広場リニューアル		調整	設計	工事						
⑥特殊街路再整備		調整	設計	工事						
エスカレーター設置		調整	設計	工事						

<凡例>

調整 →

設計 →

工事 →

東京2020
オリンピック・
パラリンピック
競技大会 ■

<特殊街路整備イメージ>



<市役所通り線整備イメージ>



(2) その他の事業スケジュール (予定)

事業	年度	H30	H35
⑦自由通路拡幅整備		[Progress bar from H30 to H35]	
⑧南口駅前広場・デッキ整備		[Progress bar from H30 to H35]	
⑨地下通路リニューアル		[Progress bar from H30 to H35]	
		東西方向部分	南北方向部分

<凡例> 検討・調整/設計/工事

(3) にぎわい・交流の創出、魅力づくりに向けた取組について

藤沢駅周辺の活性化及び拠点性の継続・向上に向けては、にぎわい創出や魅力づくりに向けた取組として、整備後の運営・育成が重要であり、本市都心部としてのポテンシャルや継続性の観点から、官民連携したマネジメントの導入を見据えて、今後検討します。

【藤沢駅周辺におけるエリアマネジメント対象エリア (案)】

藤沢駅街区内の公共空間を想定 (藤沢駅北側：ペDESTロリアンデッキ・特殊街路・地下通路、 藤沢駅南側：駅前広場+デッキ 等)

【スケジュール】

○平成 31 年度から、藤沢駅北側を中心にエリアマネジメントを実施し、順次、リニューアル等を終えた箇所から拡大を予定しています。

○特殊街路では先行して再整備を終えるため、平成 29・30 年度においては、今後の活用のあり方等について、実験的に取り組みます。

H28	H29	H30	H31	H32
	官民連携の仕組・組織等の検討・準備			
	特殊街路で実験を予定			
			エリアマネジメント開始予定	